

第76期

KISSEI REPORT

2020.4.1-2021.3.31

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL https://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

【お知らせ】

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

明日の健康を見つめる
 **キッセイ薬品工業株式会社**



上高地 河童橋と残雪の穂高連峰

 **キッセイ薬品工業株式会社**



独創的な新薬を研究開発し、
世界の人びとの健康に貢献します。

代表取締役会長
最高経営責任者

神津陸雄



当期の概要

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第76期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業の概況をご報告させていただきます。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化するとともに、米中の貿易摩擦の再燃などにより世界経済の成長が停滞する中、先行き不透明な状況で推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年4月に実施されました薬価改定にて、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件が拡充されたものの、後発品への置換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げがより厳格化されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、建設請負業界、物品販売業界におきましては、IT投資が加速する一方で設備投資意欲には力強さが見えず、また、個人消費も持ち直しの動きが鈍化するなど、依然として厳しい競争環境下にありました。

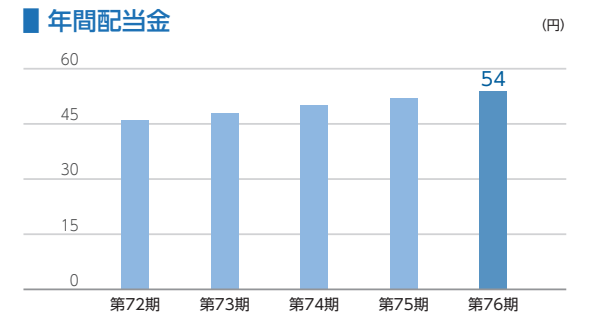
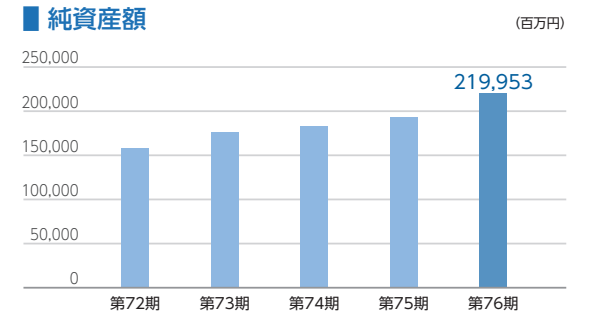
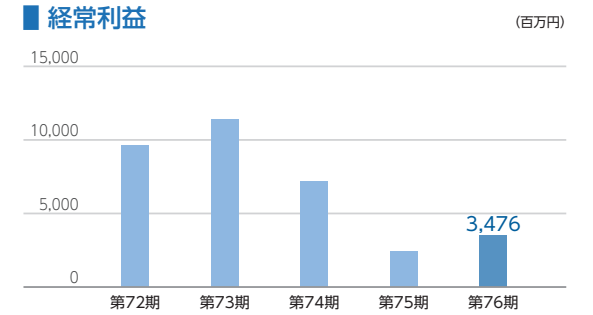
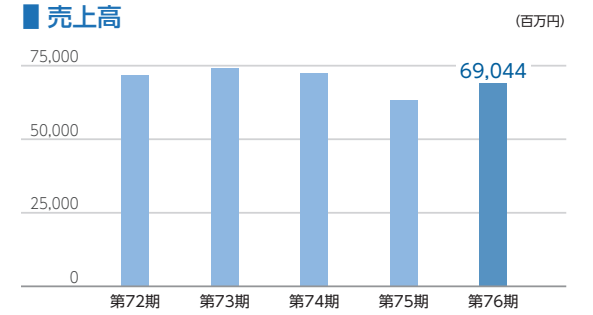
このような情勢の中で、当連結会計年度の売上高は690億4千4百万円（前連結会計年度比9.2%増）、営業利益は15億5百万円（前連結会計年度比19.0%減）、経常利益は34億7千6百万円（前連結会計年度比43.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は52億8千5百万円（前連結会計年度比87.6%増）となりました。

利益面では、増収に加え販売費及び一般管理費が減少いたしましたものの、売上原価率の上昇により、営業利益は減益となりました。一方、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。なお、営業外収益として有価証券評価益を、特別利益として投資有価証券売却益をそれぞれ計上いたしております。

研究開発の状況につきましては、丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬ジフェリケファリン（一般名、

開発番号：MR13A9）につきまして昨年、第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、EAファーマ株式会社と共同開発を行っております潰瘍性大腸炎治療薬カロテグラストメチル（一般名、開発番号：AJM300）、及び塩野義製薬株式会社より技術導入いたしました脊髄小脳変性症治療薬ロパチレリン（一般名、開発番号：KPS-0373）につきましては、承認申請に向けた準備を開始いたしました。なお、本年3月には、ピフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（スイス）より技術導入いたしました顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬アバコパン（一般名、開発番号：CCX168）の承認申請を行うとともに、CGオンコロジー社（アメリカ）より技術導入いたしました腫瘍溶解性ウイルス療法CG0070（開発番号）につきまして、同社が実施しております国際共同第Ⅲ相臨床試験に参画し、日本国内における臨床試験を開始いたしました。あわせて、当社が創製いたしました炎症性腸疾患治療薬KSP-0243（開発番号）につきまして、第Ⅰ相臨床試験を開始いたしております。

このほか当社の創製品では、昨年10月、パーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）につきまして、中国、台湾、香港、マカオ及び東南アジア6カ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン）における独占的な開発権及び販売権等をアフアメドセラピューティクス社（中国）に許諾する契約を締結いたしました。また、オブシーバ社（スイス）に技術導入しております子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、国内開発番号：KLH-2109、海外開発番号：OBE2109）につきましては、昨年11月に同社より、子宮筋腫を適応症として欧州医薬品庁（EMA）に承認申請が行われました。



経営ビジョン

世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する
創薬研究開発型企業を目指す

2020年4月～2025年3月
中期5カ年経営計画

PEGASUS

— 英知の結集、新ステージへの飛翔 —

I. 国内売上の拡大

II. 海外収益基盤の強化

III. 開発パイプラインの拡充

IV. 経営環境の変化に対応する
経営基盤の強化

2021年度の連結業績見通し

売上高 **63,500** 百万円

経常利益 **△1,300** 百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益 **3,300** 百万円

中期経営計画（中計）計数目標

	前中計 最終年度 (2019年度) 実績	PEGASUS 最終年度 (2024年度) 目標
連結売上高	632億円	870億円以上
単体売上高	513億円	750億円以上
医薬品 ^{*1}	413億円	625億円以上
ヘルスケア食品	38億円	45億円以上
その他 ^{*2}	60億円	80億円以上
連結営業利益	18億円	90億円以上
研究開発投資	107億円	130億円
ROE	1.5%	5.0%以上

^{*1}: 原薬・バルク輸出含む
^{*2}: 国内販売提携先供給額、技術料売上、コ・プロモーションフィーの合計額

研究開発の状況

経営ビジョンである「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発におけるコア領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、グローバル市場への進出と拡大を目指し、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

●自 社

(2021年5月11日現在)

開発段階	一般名 / 開発番号	開発区分	予定適応症	主な作用等
承認申請中	アバコパン / CCX168	導入品/ピフォー・フレゼニウス・ メディカル・ケア・リーナル・ファーマ (スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用
申請準備中	カロテグラストメチル / AJM300	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用
	ロパチレリン / KPS-0373	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン (TRH) 作用
第Ⅲ相	ホスタマチニブ / R788	導入品/ライジェルファーマ シューティカルズ (アメリカ)	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用
	ジフェリケファリン / MR13A9	導入品/丸石製薬 共同開発	透析患者におけるそう痒症	κオピオイド受容体刺激作用
	CG0070	導入品/CGオンコロジー (アメリカ)	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法
第Ⅱ相	リンザゴリクス / KLH-2109	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用
第Ⅰ相	KSP-0243	創製品	炎症性腸疾患	

●導 出

(2021年5月11日現在)

開発段階	一般名/開発番号	提携企業	実施国・地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitigliinide)	エーザイ (日本)	ベトナム	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (sildenafil)	エーザイ (日本)	ベトナム、他	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ (スイス)	欧州	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
第Ⅲ相	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ (スイス)	米国	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ (スイス)	欧州、米国	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	米国	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用
	KDT-3594	アフアメド (中国)	中国、他	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用

事業別の概況

医薬品事業

医薬品事業の売上高は564億7百万円（前連結会計年度比9.9%増）となりました。新型コロナウイルス感染症の長期化により、従来の医薬情報活動が制限される中ではありましたが、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、腎性貧血治療薬「ダルベポエチンアルファBS注JCR」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」などの売上が増加いたしましたことに加え、昨年4月に販売移管が行われました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25µg/50µg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60µg/120µg/240µg」及び「デスマプレシン製剤」、糖尿病治療薬「マリゼブ錠」の寄与などにより、増収となりました。

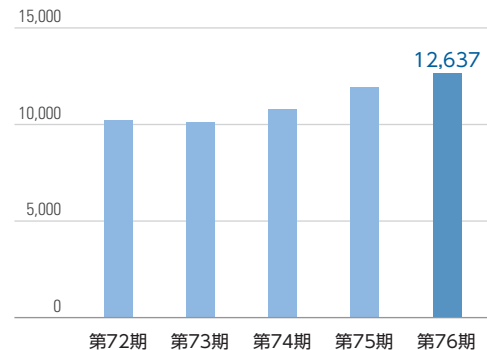


情報サービス事業・建設請負事業・物品販売事業

情報サービス事業の売上高は84億8千9百万円（前連結会計年度比28.0%増）、建設請負事業の売上高は35億3千8百万円（前連結会計年度比2.0%減）、物品販売事業の売上高は6億9百万円（前連結会計年度比63.8%減）となりました。



■ 売上高(連結子会社3社合計) (百万円)



製商品のご紹介

主な医療用医薬品

泌尿器科用薬剤

- ・ベオーバ錠 過活動膀胱治療薬
- ・ミニリンメルト、他* デスマプレシン製剤
- ・ユリーフ 排尿障害改善薬

腎・透析科用薬剤

- ・ピートル 高リン血症治療薬
- ・エポエチンアルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
- ・ダルベポエチンアルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
- ・フルスタン錠 活性型ビタミンD₃製剤

代謝内分泌科用薬剤

- ・グルベス 糖尿病治療薬
- ・グルファスト 糖尿病治療薬
- ・マリゼブ錠 糖尿病治療薬
- ・ベザトールSR錠 高脂血症治療薬

産婦人科用薬剤

- ・ウテメリン 切迫流・早産治療薬
- ・ゾラデックス1.8mgデポ 子宮内腺症治療薬

眼科用薬剤

- ・リザベン点眼液 アレルギー性結膜炎治療薬
- ・リズモンTG点眼液 緑内障・高眼圧症治療薬

その他の薬剤

- ・サラジエン 口腔乾燥症状改善薬
- ・レクタブル注腸フォーム 潰瘍性大腸炎治療薬
- ・リザベン アレルギー性疾患治療薬
- ・ガスコン 消化管内ガス駆除剤

主なヘルスケア食品

介護・高齢者向け食品

- ・新スルーキングi
- ・のみや水
- ・おかゆケアスルー

エネルギー補給食品

- ・カップアガロリー
- ・たんぱく質調整食品

栄養補助食品

- ・ゆめごはん
- ・えねぱくゼリー

*ミニリンメルトOD錠25µg/50µg/60µg/120µg/240µg、デスマプレシン点鼻液0.01%協和、デスマプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスマプレシン注4協和

20.9%

22.9%

11.7%

1.7%

1.1%

11.4%

5.4%

その他 6.6%
(国内販売提携先供給額等)

情報サービス事業 12.3%

建設請負事業 5.1%

物品販売事業 0.9%

連結売上高
69,044百万円

連結財務諸表

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当連結会計年度 (2021年3月31日現在)	科目	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当連結会計年度 (2021年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	96,677	92,965	流動負債	17,024	18,245
固定資産	135,117	175,895	固定負債	21,800	30,662
有形固定資産	24,605	24,290	負債合計	38,824	48,907
無形固定資産	1,511	1,640	(純資産の部)		
投資その他の資産	108,999	149,964	株主資本	143,435	144,941
資産合計	231,794	268,861	その他の包括利益累計額	49,029	74,373
			非支配株主持分	504	638
			純資産合計	192,970	219,953
			負債純資産合計	231,794	268,861

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	63,234	69,044
売上原価	28,328	36,322
売上総利益	34,905	32,722
販売費及び一般管理費	33,048	31,217
営業利益	1,857	1,505
営業外収益	1,430	2,154
営業外費用	859	183
経常利益	2,429	3,476
特別利益	2,264	4,087
特別損失	62	87
税金等調整前当期純利益	4,630	7,476
法人税、住民税及び事業税	390	1,510
法人税等調整額	1,351	587
当期純利益	2,888	5,378
非支配株主に帰属する当期純利益	71	93
親会社株主に帰属する当期純利益	2,817	5,285

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,934	△2,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	490	△9,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,419	△4,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額	10,004	△15,872
現金及び現金同等物の期首残高	49,315	59,319
現金及び現金同等物の期末残高	59,319	43,447

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

新規パーキンソン病治療薬 KDT-3594 をライセンスアウト

2020年10月に当社は、創製品であるパーキンソン病治療薬（開発番号：KDT-3594）について、アフアメド社（Affamed Therapeutics Limited、本社：中国）に対し、中国、台湾、香港、マカオ及び東南アジア6カ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン）における開発及び販売等のための独占的ライセンスを許諾いたしました。この対価として、当社は、アフアメド社より契約一時金を受取るとともに、今後、開発段階に応じたマイルストーン及び製品販売に

伴うマイルストーン並びにロイヤルティの支払いを受取ることになりました。

KDT-3594は、新規の経口投与可能な非麦角系ドパミンアゴニストで、大脳基底核に存在するドパミン受容体を刺激することで、ドパミンの作用不足により発症したパーキンソン病の症状を改善することが確認され、既存の麦角系及び非麦角系ドパミンアゴニストの特徴的な副作用の発症リスクを軽減する、新規のパーキンソン病治療薬として期待されております。

補体C5a受容体阻害剤 アバコパン（CCX168）を国内製造販売承認申請

2021年3月に当社は、抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎に分類される顕微鏡的多発血管炎及び多発血管炎性肉芽腫症の治療薬として、補体C5a受容体阻害剤アバコパン（一般名、開発番号：CCX168）の日本国内における製造販売承認を申請したことを公表いたしました。

アバコパンは、ANCA関連血管炎に対し、補体C5a受容体を阻害することによって抗炎症作用を発揮する、ファーストインクラスの経口投与可能な薬剤です。当社は2017年6月、ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（Vifor Fresenius Medical Care Renal Pharma Ltd.、本社：スイス、以下「VFMCRP社」）より、日本におけるアバコパンの独占的開発・販売権を取得いたしました。その後、創製元であるケモセントリクス社（ChemoCentryx, Inc.、本社：アメリカ）がスポンサーとして実施した国際共同第Ⅲ相臨床試

験に、VFMCRP社とともに参画し、良好な結果を得たことから、今回の承認申請に至りました。海外においては、ANCA関連血管炎治療薬として、現在、米国及び欧州で承認申請中です。また、アバコパンは、2019年3月に日本において、厚生労働大臣より、顕微鏡的多発血管炎及び多発血管炎性肉芽腫症の効能又は効果で希少疾病用医薬品の指定を受けております。

当社は、ANCA関連血管炎並びにアバコパンに関する情報を的確に提供するために、2021年4月に希少疾病領域における新製品の円滑な市場導入を目的として、本領域のマーケティングを専門に担当するレアディージェブプロジェクトを新設しました。製造販売承認取得後、アバコパンを円滑に医療現場に提供することで、難病に苦しむ患者さんに一層貢献できるような、発売に向け準備を進めてまいります。

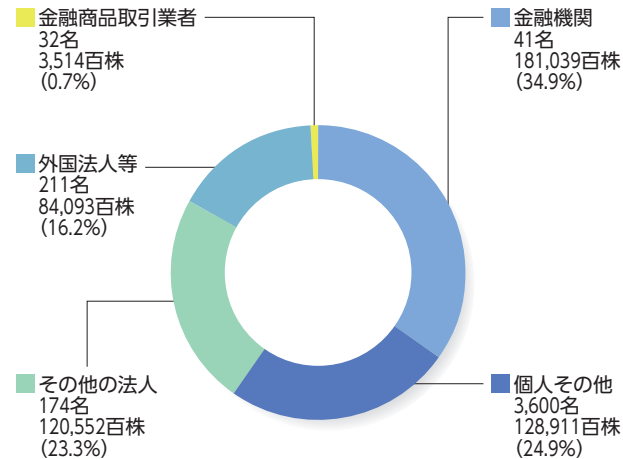
株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 51,811,185株
 株主数 4,058名 (前期末比712名増)
 大株主

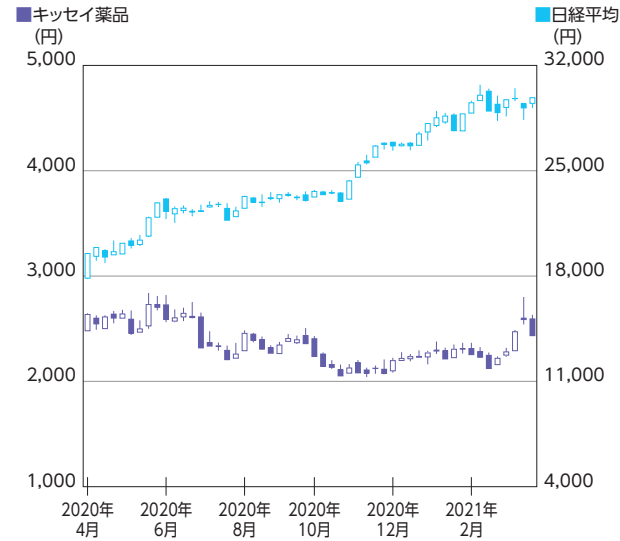
株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	32,000株	6.9%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	29,720	6.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	26,196	5.7
株式会社八十二銀行	23,333	5.1
有限会社カンザワ	16,782	3.6
神澤陸雄	15,418	3.3
キッセイグループ従業員持株会	12,701	2.8
株式会社みずほ銀行	12,334	2.7
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C USL NON-TREATY	12,254	2.7
鋼林株式会社	12,223	2.7

(注) 1. 当社は自己株式5,695,246株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

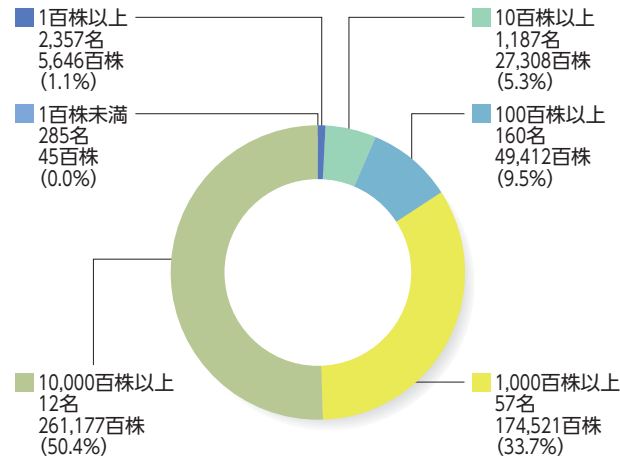
●所有者別分布



●株価チャート



●所有株数別分布



会社概要 (2021年3月31日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文社名 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
 設立 1946年(昭和21年)8月9日
 資本金 24,356,653,478円
 主要な事業内容 医療用医薬品の研究・開発・製造・販売
 従業員数 1,442名

事業所 本社
 〒399-8710
 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081

東京本社
 〒103-0022
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761

東京本社(小石川)
 〒112-0002
 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 電話 (03) 5684-3530

支店
 北海道支店、東北支店、関越支店、東京支店、
 神奈川支店、松本支店、東海北陸支店、関西支店、
 中四国支店、九州支店
 (支店の下に48営業所を設置)

工場
 松本工場(長野県松本市)
 塩尻工場(長野県塩尻市)

研究所
 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市)
 上越化学研究所(新潟県上越市)

ヘルスケア事業センター
 (長野県塩尻市)

●役員

代表取締役会長	神澤陸雄	取締役	相良純徳
代表取締役社長	降旗喜男	取締役	北原孝秀
取締役副社長	佐藤公衛	社外取締役	清水重孝
専務取締役	福島敬二	社外取締役	野村稔
常務取締役	竹花泰雄	社外取締役	内川小百合
常務取締役	高山哲	常勤監査役	伊佐治正幸
取締役相談役	両角正樹	監査役	米窪真人
取締役	松下英一	社外監査役	中川寛道
取締役	菊池伸次	社外監査役	岩淵道男

Information



ホームページのご案内

当社のホームページにて、タイムリーな情報を提供しております。是非アクセスしてください。

アドレスはこちら↓
<https://www.kissei.co.jp/>

統合報告書 2020 Annual Report 2020

企業の財務情報と非財務情報を統合して年次報告する「統合報告書」及びその英語版である「Annual Report」をホームページに掲載しております。



資料請求のご連絡先：広報部 TEL：(0263) 25-9523
 (土・日・祝日、当社休日を除く月～金 8：40～17：20)